

# 向こう 1 か月の天候の見通し

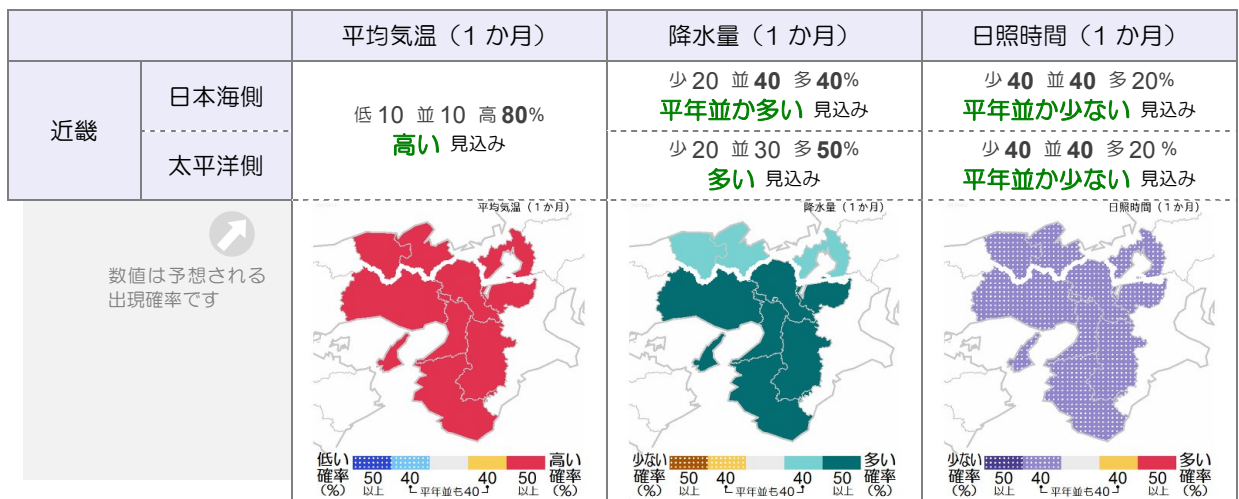
## 近畿地方（8 月 5 日～9 月 4 日）

大阪管区気象台

### 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。  
特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- 期間の前半を中心に、湿った空気の影響を受けやすく、向こう 1 か月の降水量は、太平洋側を中心に多いでしょう。また、向こう 1 か月の日照時間は、平年並か少ない見込みです。

### 1 か月の平均気温・降水量・日照時間



### 週別の天候

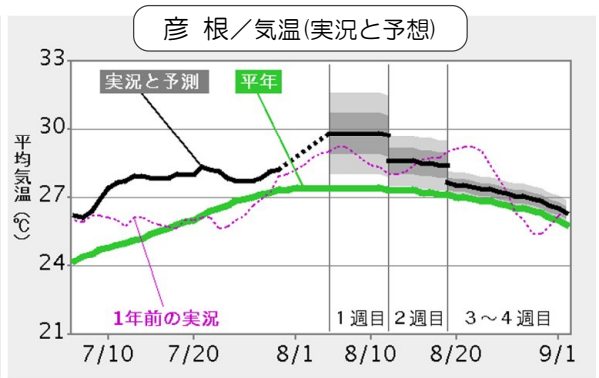
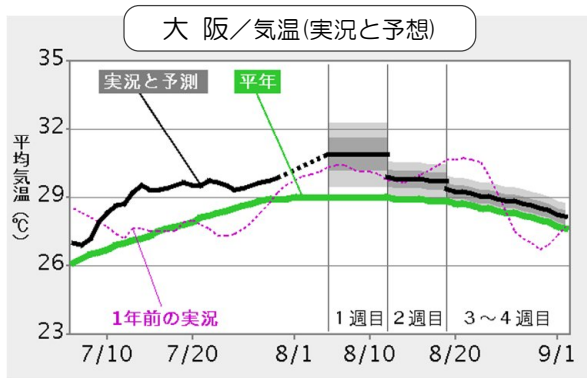
(1 週目) 8/5～11	(2 週目) 8/12～18	(3～4 週目) 8/19～9/1
湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。	日本海側では、高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 太平洋側では、湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。	高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1週目） 8/5～11	平均気温（2週目） 8/12～18	平均気温（3～4週目） 8/19～9/1
近畿地方	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並20 高70% 高い見込み	低10 並40 高50% 高い見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1週目） 	平均気温（2週目） 	平均気温（3～4週目） 
	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>平年並み40</small>	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>平年並み40</small>	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) <small>平年並み40</small>



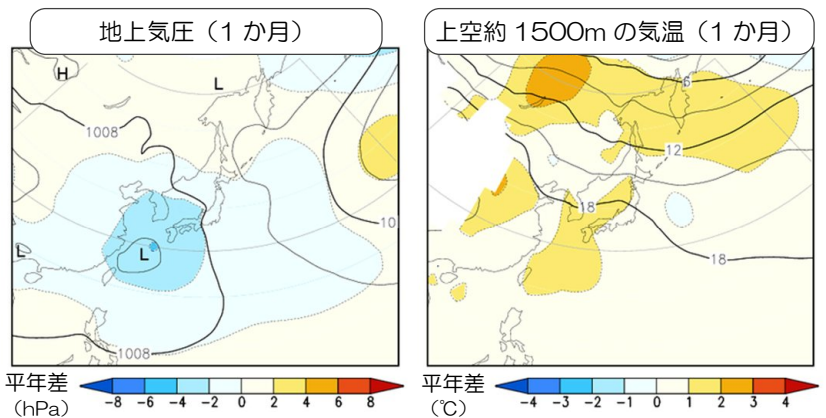
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、  
気象庁ホームページ  
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>  
で公開しています。

予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、日本の南海上から九州の西を中心に低い予測となっています。

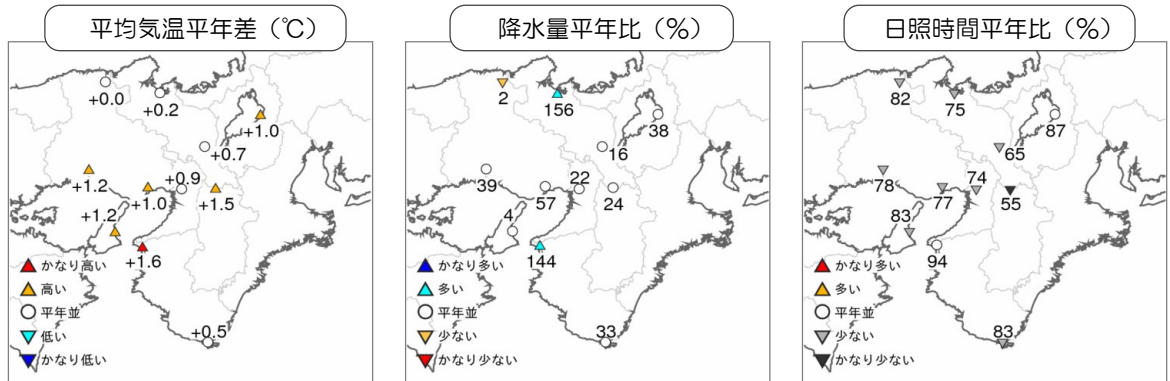
上空約1500mの気温（右図）は、日本付近は高い予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

## 最近 1 週間の天候経過（実況） 7/27~8/2

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、強い日射の影響も加わり、大気の状態が不安定となったため、大雨となった日もありました。



(実況) 7/27~8/2		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	+0.9℃ (平年並)	65% (平年並)	81% (少ない)
	太平洋側		42% (平年並)	76% (少ない)

## 参考データ

### ●平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
近畿地方	平年差: -0.2~+0.5℃	平年差: -0.3~+0.7℃	平年差: -0.3~+0.6℃	平年差: -0.3~+0.5℃
彦根	26.6~27.4℃	27.1~28.2℃	26.9~27.9℃	26.3~27.1℃
大阪	28.3~29.1℃	28.6~29.8℃	28.6~29.5℃	27.9~28.8℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
近畿日本海側	平年比: 66~119%	平年比: 89~111%
近畿太平洋側	平年比: 58~110%	平年比: 90~111%
彦根	58.8~119.1mm	167.1~202.7 時間
大阪	41.9~95.0mm	172.1~210.1 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

### ●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	17.8 日	6.9 日	4.5 日	1.6 日	4.4 日	1.9 日	8.9 日	3.4 日
大阪	19.2 日	6.4 日	5.0 日	1.4 日	4.8 日	1.6 日	9.4 日	3.4 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 4.0% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

### ●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上 (20 : 40 : 40)	高い (多い) 見込み 平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み